

保育所サービス評価結果記入様式

守山市立よしみ乳児保育園 評価シート

(評価日：令和7年8月27日・8月28日実施)

【共通評価基準】

I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
1	① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 理念、基本方針が文書（事業計画等の法人（保育所）内の文書や広報誌、パンフレット、ホームページ等）に記載されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 理念は、法人（保育所）が実施する保育の内容や特性を踏まえた法人（保育所）の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。
	理念、基本方針は、入園のしおりやホームページ・入園説明会時にスライドと口頭で説明し、保護者へ周知している。職員への伝え方として、法人共通の ICT（チームス）を利用して全員が回覧することにより、職員へ周知をしている。今年度から保護者会も開始となり、保護者と職員が協力しながら子ども達が安全、安心に過ごせる保育所作りを目指している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、保護者等への周知が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 理念や基本方針を保護者会等で資料をもとに説明している。（保育所）

I-2 経営状況の把握

I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
2	① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。
	指定管理運営者である守山市と法人の中の運営管理課が協働しながら、保育のニーズを把握し、社会状況に応じて子どもの入園数の調整を図っている。結果として守山市内の子どもの待機児童の軽減（解消）に役立っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもの数・利用者（子ども・保護者）像等、保育のニーズ、潜在的利用者に関するデータを収集するなど、法人（保育所）が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 定期的に保育のコスト分析や保育所利用者の推移、利用率等の分析を行っている。
3	② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 経営環境や保育の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 経営状況や改善すべき課題について、役員（理事・監事等）間での共有がなされている。
	洛和福祉会（法人本部）の子ども未来事業部経営管理課と共に連携し、収支の分析、利用者ニーズの把握等、経営に関する改善すべき課題について随時検討している。職員会議にて園長から職員へ伝達を行っており、全職員が高い意識を持って働いている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。

I-3 事業計画の策定

I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
4	① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	C	<input type="checkbox"/>	ア 中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標（ビジョン）を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ 中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。
	中・長期計画はまだ作成されていない。今後、守山市の社会情勢に合わせ、洛和福祉会の法人本部と相談し、中・長期計画を作成する事が期待される。		<input type="checkbox"/>	ウ 中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。
			<input type="checkbox"/>	エ 中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。
5	② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	C	<input type="checkbox"/>	ア 単年度の計画には、中・長期計画の内容を反映した単年度における事業内容が具体的に示されている。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ 単年度の事業計画は、実行可能な具体的な内容となっている。
			<input type="checkbox"/>	ウ 単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。

	法人として保育動向、計画はあるものの、園独自の中・長期計画に照らした単年度における事業計画は確認できなかった。今後、洛和福祉会の法人本部と相談し、単年度の事業計画の作成が期待される。		<input type="checkbox"/>	エ	単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		第三者評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>		評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
6	① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しは組織的に行われ、職員が理解している。	C	<input type="checkbox"/>	ア	事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。
	判断した理由・特記事項等 法人としての事業計画は充実している。しかし、園独自の事業計画が作成されている資料は確認できなかった。事業計画が無いので評価が出来ないと判断した。今後は、法人本部と協議の上、園独自の中・長期計画の策定が望まれる。		<input type="checkbox"/>	イ	計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。
			<input type="checkbox"/>	ウ	事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。
			<input type="checkbox"/>	エ	評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。
			<input type="checkbox"/>	オ	事業計画が、職員に周知（会議や研修会における説明等）がされており、理解を促すための取組を行っている。
7	② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	事業計画の主な内容が、保護者等に周知（配布、掲示、説明等）されている。
	判断した理由・特記事項等 事業計画の主な内容は、園便りや全体の説明会、保護者会、コードモンを使用し保護者や地域の方へ周知している。年間行事も早めに周知することにより、保護者が参加しやすく、子どもとの関わりを持つことの出来る環境作りが行われている。		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	事業計画の主な内容を保護者会等で説明している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によって、保護者等がより理解しやすいような工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	事業計画については、保護者等の参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		第三者評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>		評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
8	① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	組織的にPDCAサイクルにもとづく保育の質の向上に関する取組を実施している。
	判断した理由・特記事項等 定期的に第三者評価を受審している。内部監査や施設巡回など法人の中でPDCAサイクルを取り入れた取り組みが実施されている。また、園長が他の施設（保育園）を評価する取り組みも行われている。		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育の内容について組織的に評価（C：Check）を行う体制が整備されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	評価結果を分析・検討する場が、組織として位置づけられ実行されている。
9	② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。
	判断した理由・特記事項等 職員への自己評価を定期的に実施している。改善計画の見直しについては、日時が定まっていない為、日時を明確に定めること、PDCAサイクルに合わせて定期的な見直しが実施されることが期待される。		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	職員間で課題の共有化が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。
			<input type="checkbox"/>	オ	改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。

II 組織の運営管理

II-1 管理者の責任とリーダーシップ

II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		第三者評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>		評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
10	① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	施設長は、自らの保育所の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等 職務分掌を基本に、園要覧の中で保育の方針や目標、単年度（実施年度）の努力点などについても記述されており、職員の意識改革について取り組みが進められている。		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	施設長は、自らの役割と責任について、保育所内の広報誌等に掲載し表明している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	平常時のみならず、有事（災害、事故等）における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。
11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者（取引事業者、行政関係者等）との適正な関係を保持している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。

	法令遵守の視点で、法人内で研修会が実施されている。その研修に職員が参加し、その内容は、園内の職員会議で伝達研修を実施している。マニュアルも最新の情報に更新されている。	☑	ウ	施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。
		☑	エ	施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		第三者評価結果	☑	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
12	① 保育の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	a	☑	ア 施設長は、保育の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 施設長は、保育の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。
	園長は年度初めに所信表明としてその年の目標や方向性について職員に周知している。また、月齢毎の保育計画を職員と共に作成している。保育内容検討会があり、そこで保育の在り方や質の向上に努めている。園長や主任も保育に入り、入らなければ見えない視点から職員教育を行っている。職員が園児に対し愛情を持って関わっている様子は園内視察を通じて確認できた。保護者にも保育の様子が伝わっており、保護者アンケートの自由記述欄のコメントに反映されていた。		☑	ウ 施設長は、保育の質の向上について組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している
			☑	エ 施設長は、保育の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。
			☑	オ 施設長は、保育の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。
13	② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a	☑	ア 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 施設長は、組織の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。
	職員の働きやすい環境を作るために、法人の労務担当者と連携し日々の取り組みに努めている。設備関係や運営方法については、委託先である守山市とも相談しながら、子どもたちが過ごしやすい安全な居場所作りを行っている。		☑	ウ 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、組織内に同様の意識を形成するための取組を行っている。
			☑	エ 施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		第三者評価結果	☑	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a	☑	ア 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 保育の提供に関わる専門職の配置、活用等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。
	プリセプター制度により新人教育を実施している。新人職員も少し年上の先輩に安心して相談が来ている。「守山市つながりサポート」の利用、就職フェア等で園のアピールを行い、人材確保に尽力している。		☑	ウ 計画にもとづいた人材の確保や育成が実施されている。
			☑	エ 法人（保育所）として、効果的な福祉人材確保（採用活動等）を実施している。
15	② 総合的な人事管理が行われている。	a	☑	ア 法人（保育所）の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 人事基準（採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準）が明確に定められ、職員等に周知されている。
	職員処遇改善については経験年数にあった研修に参加し、管理職を目指す職員には、昇格試験を受けることができる制度がある。職員がスキルアップできる環境が職員のモチベーションや離職防止につながっている。仕事と家庭の両立がし易い職場作りとして、育休や時短勤務で働くこともできるようにサポート体制を整えている。		☑	ウ 一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。
			☑	エ 職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。
			☑	オ 把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。
			☑	カ 職員が、自ら将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みづくりができています。
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		第三者評価結果	☑	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	a	☑	ア 職員の就業状況や意向の把握等にもとづく労務管理に関する責任体制を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。
	WEB上で勤怠管理が行われており、法人本部が各個人の残業時間を把握し、業務時間内に業務を完了出来るようにサポートしている。このことは職員のメンタル面にも良い影響を与え、より安定した職員確保、離職の防止に役立っている。法人本部の【子ども未来事業部経営管理課】による職員やりがいいアンケートの調査が実施され、意見を尊重し改善して働きやすい職場作りを努めている。福利厚生や休暇制度も充実している。リフレッシュ休暇を年		☑	ウ 職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。
			☑	エ 定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の悩み相談窓口を組織内に設置するなど、職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。
			☑	オ 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。
			☑	カ ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。

	1 2 日間取得するよう定められており、職員には好評で長く働き続けるきっかけになっている。		<input checked="" type="checkbox"/>	キ	改善策については、福祉人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク	福祉人材の確保、定着の観点から、組織の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。			第三者評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。		a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 組織として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。
	判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 個別面接を行う等保育所の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標が設定されている。
	年2回、職員自身が今後の目標や、自己評価等を自己申告書に記載し、その内容を基に個別面談を実施している。また、面談の中で各職員の学びたい内容を聞き取り、今後の研修内容の中に反映している。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 職員一人ひとりの目標の設定は、目標項目、目標水準、目標期限が明確にされた適切なものとなっている。
<input checked="" type="checkbox"/>				エ 職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。	
<input checked="" type="checkbox"/>				オ 職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末（期末）面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。	
18	② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。		a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育所が目指す保育を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。
	判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 現在実施している保育の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、保育所が職員に必要とされる専門技術や専門資格を明示している。
	園内の取り組みを他部署に発表する法人内学会を年1回実施している。年間実績を発表する事で、子供たちの成長、職員の成長に貢献している。その基本方針はワムネット上に公開され、一般閲覧できる。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。
<input checked="" type="checkbox"/>				エ 定期的に計画の評価と見直しを行っている。	
<input checked="" type="checkbox"/>				オ 定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。	
19	③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。		a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。
	判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。
	職員の経験年数や役職に応じた研修内容が組織として充実している。保育技術の内容だけではなく、シミュレーション研修、施設内交流研修、マネジメント研修等が実施され、研修報告書は写真付きで誰が見てもわかりやすくまとめてあり、誰もが学びを共有できる環境が確認できた。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。
<input checked="" type="checkbox"/>				エ 外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を勧奨している。	
<input checked="" type="checkbox"/>				オ 職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。	
Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。			第三者評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
20	① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。		a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成に関する基本姿勢を明文化している。
	判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成についてのマニュアルが整備されている。
	実習生の受け入れ体制が整っている。子ども家庭庁の保育所等実習指導研修も受講済みで指導することができる環境が整っている。法人本部の採用教育課と大学や専門学校などの養成校との連携も毎年実施している。 なお、項目（オ）は【非該当】とする。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。
<input checked="" type="checkbox"/>				エ 指導者に対する研修を実施している。	
<input checked="" type="checkbox"/>				オ 実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。	

Ⅱ-3 運営の透明性の確保

Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		第三者評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>		評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
21	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	ホームページ等の活用により、法人、保育所の理念や基本方針、保育の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育所における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公表している。
	【ここ de サーチ（子育て支援情報公表システム）】にて保育所等における継続的な経営情報の報告をしている。苦情・相談の内容については公表されていない。苦情に対する第三者委員を設置し、窓口に掲示している。ホームページに必要な情報の公開を記載し、インスタグラムに園での視覚的な情報を公開することで、プライバシーに配慮しつつも園の様子を見てもらうことができるため、運営の透明性を示していると判断した。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公表している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	法人（保育所）の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人（保育所）の存在意義や役割を明確にするように努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	地域へ向けて、理念や基本方針、事業所で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。
22	① 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	保育所における事務、経理、取引等に関するルールが明確にされ、職員等に周知している。

	判断した理由・特記事項等	☑	イ	保育所における事務、経理、取引等に関する職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。
	法人による内部監査、滋賀県の指導監査も受けている。守山市より示された協定書に基づいて業務の運営改善を図っている。	☑	ウ	保育所における事務、経理、取引等について、必要に応じて外部の専門家に相談し、助言を得ている。
		☑	エ	保育所における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。
		☑	オ	外部監査の活用等により、事業、財務に関する外部の専門家によるチェックを行っている。
		☑	カ	外部監査の結果や公認会計士等による指導や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。

II-4 地域との交流、地域貢献

II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		第三者 評価結果	☑		評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
23	① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a	☑	ア	地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ	活用できる社会資源や地域の情報を収集し、掲示板の利用等で保護者に提供している。
	地元地域の方に園の事を知ってもらう為、複数の自治会に毎月園だよりを配布している。守山市子育て支援事業に参加し、広報誌「ほほえみ」に子育て教室の情報を載せたり、年3回「にこにこ広場」でブース（出展）を担当している。		☑	ウ	子どもの個別的状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。
			☑	エ	保育所や子どもへの理解を得るために、地域の人々と子どもとの交流の機会を定期的に設けるなどの取組を行っている。
			☑	オ	個々の子ども・保護者のニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。
24	② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a	☑	ア	ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。
	判断した理由・特記事項等			イ	地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化している。
	ボランティアや地域の学校教育への協力依頼の際に対応できるよう、マニュアル化されている。ボランティア保険にも加入可能。現在は近隣の住民の方の保育ボランティア（月3～4回）を受け入れている。		☑	ウ	ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している
	項目(イ)(オ)は【非該当】とする。		☑	エ	ボランティアに対して子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。
				オ	学校教育への協力を行っている。
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		第三者 評価結果	☑		評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
25	① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a	☑	ア	当該地域の関係機関・団体について、個々の子ども・保護者の状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ	職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。
	守山市の要保護児童対策協議会に加入している。連絡会や研修会に定期的に参加し、情報交換をしている。地域の民生児童委員が2～3ヶ月に1回保育園を訪問して直接情報交換している。また必要な時には児童相談所とも連携を図っている。守山市の母子保健課とも連携し、乳幼児健診の日程等はすこやか健康だより（紙のものを発行）を保護者に配布し、健診内容で気になることがあれば相談できる体制を整えている。		☑	ウ	関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。
			☑	エ	地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。
			☑	オ	地域に適切な関係機関・団体がない場合には、子ども・保護者のアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。
			☑	カ	家庭での虐待等権利侵害が疑われる子どもへの対応について、要保護児童対策地域協議会への参画、児童相談所など関係機関との連携が図られている。（保育所）
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		第三者 評価結果	☑		評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
26	① 保育所が有する機能を地域に還元している。	a	☑	ア	保育所のスペースを活用して地域の保護者や子ども等との交流を意図した取組を行っている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ	保育所の専門性や特性を活かし、地域の保護者や子ども等の生活に役立つ講演会や研修会等を開催して、地域へ参加を呼びかけている。
	災害時の地域における役割としては、福祉避難所として解放されることになっている。また、災害時における園の役割、体制についてもBCP（事業継続計画）マニュアルが作成され、内容も充実している。市内の子育て支援事業のイベントに積極的に参加しており、未就園の親子にむけて子育て相談を実施している。		☑	ウ	保育所の専門性や特性を活かした相談支援事業、子育て支援サークルへの支援等、地域ニーズに応じ地域の保護者や子ども等が自由に参加できる多様な支援活動を行っている。
			☑	エ	災害時の地域における役割等について確認がなされている。
			☑	オ	多様な機関等と連携して、社会福祉分野に限らず地域の活性化やまちづくりに貢献している。
27	② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b	☑	ア	保育所の機能を地域に還元することなどを通じて、地域の福祉ニーズの把握に努めている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ	民生委員・児童委員等と定期的な会議を開催するなどによって、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。

	地域の福祉ニーズは、守山市（行政の担当課）が把握しており、園にもその情報は共有され、福祉ニーズの把握に努めている。地域住民に洛和福祉会の福祉の取り組みを周知する活動として、法人主催で年1回「メディカルフェスティバル」を実施して飲食物の無料配布や健康相談を実施している。その他、地域の親子が同年代の子どもと遊ばせたいというニーズに応えることができる環境がある。	<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	地域住民に対する相談事業を実施するなどを通じて、多様な相談に応じる機能を有している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	関係機関・団体との連携にもとづき、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	オ	把握した福祉ニーズにもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施している。
		<input type="checkbox"/>	カ	把握した福祉ニーズにもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>		評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
28	① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	理念や基本方針に、子どもを尊重した保育の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもを尊重した保育の提供に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。
	「子どもの人権ガイドライン」を作成しており、人権の配慮をしながら保育が提供できるように、定期的に職員間で見直しを行っている。具体的には、他児、他者に見えるところでおむつ交換しないことや、作業的な保育にならない様に意識して保育に取り組んでいる。また、前回の第三者評価の際、トイレの便器の間に仕切りが無く、プライベートゾーンが丸見えの為、改善の提案を伝えた所、子供の安全に配慮しながら、子供の視線の位置だけ隠せる仕切りを手作りで作成し課題が改善された。法人内でも「虐待・不適切行為チェックシート」を利用し、保育対応や心構えを自己評価し、常に改善に向けた姿勢で保育（業務）している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもを尊重した保育に関する基本姿勢が、保育の標準的な実施方法等に反映されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子どもの尊重や基本的人権への配慮について、組織で勉強会・研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	子どもが互いを尊重する心を育てるための具体的な取組を行っている。（保育所）
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	性差への先入観による固定的な対応をしないように配慮している。（保育所）
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク	子どもの人権、文化の違い、互いに尊重する心について、その方針等を保護者に示すとともに、保護者も理解を図る取組を行っている。（保育所）
29	② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	b	<input type="checkbox"/>	ア	子どものプライバシー保護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもの虐待防止等の権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。
	「個人情報使用同意書」を必ず得てから、同意の得られたもののみ使用している。園のインスタグラムやホームページ、取材記事等に写真を使用する場合には同意を得るか顔の映らない方法で掲載している。保護者へも園内での写真撮影を配慮するように呼びかけている。保護者からの協力もあり、現在のところトラブル等は報告されていない。保育においても着替えを人前でしないように教えている。身体測定の時には目隠し（外から見えない工夫）や囲いをするなど、月齢は低いがプライバシーに配慮するよう心掛けている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どものプライバシー保護と虐待防止に関する知識、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務、利用者のプライバシー保護や権利擁護に関する規程・マニュアル等について、職員に研修を実施している。
			<input type="checkbox"/>	エ	一人ひとりの子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、子どものプライバシーを守るよう設備等の工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	子ども・保護者にプライバシー保護と権利擁護に関する取組を周知している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	規程・マニュアル等にもとづいた保育が実施されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	不適切な事案が発生した場合の対応方法等が明示されている。
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>		評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
30	① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	理念や基本方針、保育の内容や保育所の特性等を紹介した資料を、公共施設等の多くの人が入手できる場所に置いている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育所を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。
	理念や基本方針等については、ホームページに記載されており、いつでも見られるようにしている。守山市保育幼稚園課が発行する入所のしおりは、市内の入園希望者に幅広く配布されており、その中でも園の基本指針について記載している。園見学希望者には、個別に受付を行い親子で見学できるようにしている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保育所の利用希望者については、個別に丁寧な説明を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	見学等の希望に対応している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	利用希望者に対する情報提供について、適宜見直しを実施している。
31	② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	保育の開始及び保育内容の変更時の説明と同意にあたっては、保護者等の意向に配慮している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育の開始・変更時には、保護者等がわかりやすいように工夫した資料を用いて説明している。
	入園の説明会時にスライドを使って視覚的な工夫を行うと同時に口頭で説明している。障害や言語、生活背景など保護者の状況を把握するように努めている。場合によっては行事などの参加の仕方を考慮したり、参加方法を配慮したりしている。保育の開始や変更については守山市の入園受付に係る担当者から書面で配布され、園にもその内容は共有される。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	説明にあたっては、保護者等が理解しやすいような工夫や配慮を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育の開始・変更時には、保護者等の同意を得たうえでその内容を書面で残している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	特に配慮が必要な保護者への説明についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。

32	③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	保育所等の変更にあたり、保育の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育所の利用が終了した後も、保育所として子どもや保護者等が相談できるように担当者や窓口を設置している。
	児童要録を作成し、必要時には引き継ぐ手順がある。支援が必要な子どもへの個別支援計画も保護者に同意を得て引き継ぎ文書も作成されている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保育所の利用が終了した時に、子どもや保護者等に対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。

Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。		第三者評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>		評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
33	① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	日々の保育のなかで、子どもの満足を把握するように努めている。(保育所)
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保護者に対し、利用者満足に関する調査が定期的に行われている。(保育所)
	行事終了後には、保護者会アンケートを取っている。満足点と改善点を職員間で共有し次回の改善につなげている。保護者にもその内容を公開して透明な運営を図っている。また、法人内の子ども未来事業部経営管理課とも連携し、「利用者満足度調査」を年2回(9月と2月)実施している。経営管理課にも報告し内容の分析と改善策を検討する場を設けている。クラス懇談会では保護者の想いや感じたことを汲み上げる努力を継続している。保護者会には主任が出席し、内容は職員にも共有されている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保護者への個別の相談面接や聴取、保護者懇談会が、利用者満足を把握する目的で定期的に行われている。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	職員等が、利用者満足を把握する目的で、保護者会等に出席している。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	利用者満足に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、検討会議の設置等が行われている。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。(保育所)
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		第三者評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>		評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
34	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を保護者等に配布し説明している。
	苦情内容及び解決結果等は、苦情を申し出た保護者等に配慮した上で公表しているが、全ての内容を公表しているわけではない。苦情解決や第三者委員についての体制は、入り口の保護者の見えるところに掲示している。また、意見箱を設置し、保護者が意見を出しやすいよう工夫している。保護者の意見が反映された一例として、玄関の施錠をオートロック対応に変更し、道路への飛び出しや、不審者が入ってこないよう対応した実績がある。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、保護者等が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	苦情内容については、受付と解決を図った記録が適切に保管している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	苦情内容に関する検討内容や対応策については、保護者等に必ずフィードバックしている。
			<input type="checkbox"/>	カ	苦情内容及び解決結果等は、苦情を申し出た保護者等に配慮したうえで、公表している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	苦情相談内容にもとづき、保育の質の向上に関わる取組が行われている。
35	② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	保護者が相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保護者等に、その文章の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。
	オープンスペースは気軽に話せる場所、親子で給食のメニューを見ながら話せる場所としても活用されている。個別に話す必要がある場合は、静かな場所(個室)も準備している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	相談しやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。
36	③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。
	職員室の出入り口付近に園長の席があり、登園時に保護者が気軽に相談できる配慮がなされている。園長、主任も、保護者や子供のちょっとした表情の変化も見逃さない工夫と努力が日々行われ子育て支援への配慮がされている。また、実際に保護者から声をかけてくるケースや連絡帳に書いてくるケースがあり、都度SOSなどを感じ取り、親子を一体的に支える保育を進めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	職員は、日々の保育の提供において、保護者が相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	意見箱の設置、アンケートの実施等、保護者の意見を積極的に把握する取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	意見等にもとづき、保育の質の向上に関わる取組が行われている。
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		第三者評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>		評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
37	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	リスクマネジメントに関する責任者の明確化(リスクマネージャーの選任・配置)、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	事故発生時の対応と安全確保について責任、手順(マニュアル)等を明確にし、職員に周知している。

	ヒヤリハットや軽度の事故について毎回報告書の提出を義務化し、園内で共有している。洛和福祉会の主任部会の中でも発生要因の分析や再発防止策の検討を行っている。更に安全確保や事故防止について全職員向けにシミュレーション研修を園内で実施している。研修報告書が研修に参加していない職員にも共有されている。(けが対応・園児行方不明対応・不審者対応・嘔吐処理対応・感染症対応など)		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。
38	② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し、職員に周知徹底している。
	保護者には、職員室の前に発熱、休みの人数を毎日掲示している。守山市内の感染情報は毎日入力し「感染症情報システム」により、市内の感染者状況を把握し、園医にも情報提供されている。園医が勤務している病院（クリニック）が近隣にあり、随時相談を受けることができる。看護師は常駐していないが同法人の近隣保育園（吉身保育園）の看護師と連携がとれており、日々の相談や健康診断時の対応なども協力して対応している。他にも法人内の感染防止対策室からの施設巡回も定期的に（2か月に1回程度）行われており、医療面からの見守りや相談にも速やかな対応ができるよう体制が整備されている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	担当者等を中心にして、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	感染症の予防策が適切に講じられている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	感染症の発生した場合には対応が適切に行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を定期的に見直している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	保護者への情報提供が適切になされている。(保育所)
39	③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	災害時の対応体制が決められている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	立地条件等から災害の影響を把握し、建物・設備類、保育を継続するために必要な対策を講じている。
	月1回の避難訓練を行い、普段から災害への意識向上の取組を行なっている。訓練の様子は保護者にも共有されている。園独自の備蓄が現在のところ準備出来ていない。今後法人や守山市と相談しながら、備蓄品を揃えていくことが課題である。災害対策マニュアルは作成され、職員がいつでも確認できる。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子ども、保護者及び職員の安否確認の方法が決められ、すべての職員に周知されている。
			<input type="checkbox"/>	エ	食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	防災計画等整備し、地元の行政をはじめ、消防署、警察、自治会、福祉関係団体等と連携するなど、体制をもって訓練を実施している。

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		第三者評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>		評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
40	① 保育について標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	標準的な実施方法が適切に文書化されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	標準的な実施方法には、子どもの尊重、プライバシーの保護や権利擁護に関わる姿勢が明示されている。
	園の全体的な計画のもとに年間計画・月案・週案・日誌を作成し、保育の実践と記録を行っている。保育実践は子どもたちの様子や環境に応じて見直すよう工夫している。(真夏に屋外での水遊びは熱中症の危険があった為、室内玄関で水遊びを実施した。)保育内容検討会で実践事例を話し合ったり、園内研修の予定に基づいて保育が実践され、画一的な実施にならないように配慮している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	標準的な実施方法により、保育実践が画一的なものとなっていない。(保育所)
41	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	保育の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が組織で定められている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的の実施されている。
	園概要や全体的な計画の内容見直しは年度末までに行い、年度初めには開始できるように計画している。マニュアル類は年一回改定すると定められている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	検証・見直しにあたり、指導計画の内容が必要に応じて反映されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	検証・見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		第三者評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>		評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
42	① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	指導計画策定の責任者を設置している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。

	年間計画・月案・週日誌はクラス内において輪番で内容を検討し作成している。それを主任が確認、園長が最終承認する仕組みで動いている。特に配慮が必要な子どもには個別支援計画を作成し、必要に応じて市内の就園委員会での検討や巡回相談の際に使用している。市の発達支援センターとも連携し、より良い保育環境の整備を図っている。保護者にも情報共有の同意を得ており、進級の際には引き継ぐことができるようになっている。支援困難（特別要支援）ケースに関しては、まだ（在籍）実例がないが、対応はできるようにマニュアルがある。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	さまざまな職種の関係職員、必要に応じて保育所以外の関係者が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育課程にもとづき、指導計画が策定されている。（保育所）
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	子どもと保護者等の具体的なニーズ等が、個別の指導計画等に明示されている。（保育所）
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	計画の策定にあたり、さまざまな職種の関係職員、必要に応じて保育所以外の関係者が参加しての合議、保護者の意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。（保育所）
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	指導計画にもとづく保育実践について、振り返りや評価を行う仕組みが構築され、機能している。（保育所）
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク	支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な保育の提供が行われている。（保育所）
43	② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	指導計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、保護者の意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	見直しによって変更した指導計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。
	週案を職員室のホワイトボードに貼る事で、他のクラスにも分かるように明記され、その日の天候や園児の状況によって変更する事もある。実施状況は日誌に記録されている。若手職員とベテラン職員の経験差が大きいことが今後の課題である。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	指導計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	指導計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、子ども・保護者のニーズ等に対する保育・支援が十分ではない状況等、保育の質の向上に関わる課題等が明確にされている。

Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		第三者評価結果	☑		評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
44	① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a	☑	ア	子どもの発達状況や生活状況等を、保育所が定めた統一した様式によって把握し記録している。
	判断した理由・特記事項等 個別支援計画や日誌などは全てコドモン（ICT アプリ）で立案し作成している。どの職員でもログイン出来る権限を持っておりいつでも閲覧できるようになっている。パソコン、iPad、iPhone を業務用で常備し、機器を使って入力、確認出来るようにしている。ペーパーレス化が進み業務の効率が上昇している。パソコンの台数が少ないため月末や入力業務が重なる時に効率が下がることが課題となっている。		☑	イ	個別の指導計画等にもとづく保育が実施されていることを記録により確認することができる。
			☑	ウ	記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。
			☑	エ	保育所における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。
			☑	オ	情報共有を目的とした会議の定期的な開催等の取組がなされている。
			☑	ア	個人情報保護規程等により、子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。
45	② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a	☑	イ	個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。
	判断した理由・特記事項等 個人情報が漏洩しないように、USB などは使用しない事と、書類の持ち帰りをしない事を徹底している。ICT システムには、ID とパスワードを設定し、情報が漏洩しない工夫を行っている。書面で残す書類に関しては鍵付きの書類書庫で5年間保存している。職員に対し、個人情報保護の視点の法人研修を義務化し意識の向上を図っている。子どもの写真販売や掲示については、保護者の同意と許可を得ている。		☑	ウ	記録管理の責任者が設置されている。
			☑	エ	記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。
			☑	オ	職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。
			☑	カ	個人情報の取扱いについて、保護者等に説明している。

【内容評価基準】

Ⅳ-1 保育内容

Ⅳ-1-(1) 全体的な計画（保育課程）の編成		第三者評価結果	☑		評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
46	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画（保育課程）を編成している。	a	☑	ア	全体的な計画（保育課程）は、児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとらえて編成している。
	判断した理由・特記事項等 保育の理念や目標を地域の実情も踏まえて作成している。児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針とも照らし合わせて計画している。今後も、家庭環境などの状態や実際の子どもの姿も考慮しながら作成していきたいと、園全体で取り組んでいる。		☑	イ	全体的な計画（保育課程）は、保育所の理念、保育の方針や目標に基づいて編成している。
			☑	ウ	全体的な計画（保育課程）は、子どもの発達過程、子どもと家庭の状況や保育時間、地域の実態などを考慮して編成している。
			☑	エ	全体的な計画（保育課程）は、保育に関わる職員が参画して編成している。
			☑	オ	全体的な計画（保育課程）は、定期的に評価を行い、次の編成に生かしている。

IV-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		第三者 評価結果		評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
47	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a	☑	ア 室内の温度、湿度、換気、採光、音などの環境は、常に適切な状態に保持している。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 保育所内外の設備・用具や寝具の衛生管理に努めている。
	室温や湿度、採光等には留意し全館空調が設置されており、一年を通して安定した状態で過ごしやすい環境となっている。子どもたちが落ち着いて遊べる環境や、主体性を引き出せる遊具等が配置され成長を中心に考えられた環境が整っている。本が沢山置いてあるのが良かった一方で、おもちゃの数が少ないように感じられたのが今後の課題点とみられる。		☑	ウ 家具や遊具の素材・配置等の工夫をしている。
			☑	エ 一人ひとりの子どもが、くつろいだり、落ち着ける場所がある。
			☑	オ 食事や睡眠のための心地よい生活空間が確保されている。
			☑	カ 手洗い場・トイレは、明るく清潔で、子どもが利用しやすい設備を整え、安全への工夫がされている。
48	② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a	☑	ア 子どもの発達と発達過程、家庭環境等から生じる一人ひとりの子どもの個人差を十分に把握し、尊重している。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 子どもが安心して自分の気持ちを表現できるように配慮し、対応している。
	育児担当保育を方針とし、一人ひとりに合わせた生活リズムや支援を行うように各職員が努めている。育児担当保育により、一人ひとりの成長を観察し、保護者との情報交換が出来ているように見受けられた。育児内容検討会の場では気にかけていきたい子どもの姿や状況を話し合う場を設け、共通理解を図っている。家庭でも継続した支援ができるように保護者支援を積極的に実施している。		☑	ウ 自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちをくみとろうとしている。
			☑	エ 子どもの欲求を受けとめ、子どもの気持ちにそって適切に対応している。
			☑	オ 子どもに分かりやすい言葉づかいで、おだやかに話している。
			☑	カ せかず言葉や制止させる言葉を不必要に用いないようにしている。
49	③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a	☑	ア 一人ひとりの子どもの発達に合わせて、生活に必要な基本的な生活習慣を身につけられるよう配慮している。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 基本的な生活習慣の習得にあたっては、子どもが自分でやろうとする気持ちを尊重して援助を行っている。
	子どもの発達に合わせた支援ができるように園内研修を積極的に実施している。環境を整えたり援助の具体的な方法を学んだりしている。子ども一人ひとりの体調や家庭環境も考慮しながら、生活のペースを作ったり、休息できるよう園児優先の保育環境が整っている。集団で生活をする中でも静と動の活動をバランスよく取り入れて保育するよう常に意識している様子が見受けられた。		☑	ウ 基本的な生活習慣の習得にあたっては、強制することなく、一人ひとりの子どもの主体性を尊重している。
			☑	エ 一人ひとりの子どもの状態に応じて、活動と休息のバランスが保たれるように工夫している。
			☑	オ 基本的な生活習慣を身につけることの大切さについて、子どもが理解できるように働きかけている。
50	④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a	☑	ア 子どもが自主的・自発的に生活と遊びができる環境を整備している。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 子どもが自発性を発揮できるよう援助している。
	子どもが自発性を発揮できるように、職員と子どもとの信頼関係作りをベースに保育を進めている。園の周囲に自然があまりないので、園庭で草花の栽培を行い、自分たちで育てたものをおやつに取り入れるなど食育活動も積極的に実施している。また、小動物の飼育を通して子どもが他者や生き物への興味関心を形成し、自ら関わって遊べる工夫が見受けられた。保育室からすぐに園庭、テラスに出られるようになっており、戸外遊びは日常的に行える環境となっている。暑さ対策に出し入れできる日差しもあり、熱中症対策も強化されている。(公設民営という運営形態ゆえ)設備面で危険と感ずることがあれば、守山市へ相談したり、法人本部に相談する事で早急に対応し、子どもたちが安心・安全に過ごせる環境作りに力を入れている様子が確認できた。職員の経験も上がり、昨年できなかった園外散歩に行けるようになったことで、地域住民との関わりも増え、子どもたちの行動範囲が広がったことで保育自体の幅や深さも広がってきている。		☑	ウ 遊びの中で、進んで身体を動かすことができるよう援助している。
			☑	エ 戸外で遊ぶ時間や環境を確保している。
			☑	オ 生活と遊びを通して、友だちなどと人間関係が育まれるよう援助している。
			☑	カ 子どもたちが友だちと協同して活動できるよう援助している。
			☑	キ 社会的ルールや態度を身につけていくよう配慮している。
			☑	ク 身近な自然とふれあうことができるよう工夫している。
			☑	ケ 地域の人たちに接する機会、社会体験が得られる機会を設けている。
			☑	コ 様々な表現活動が自由に体験できるよう工夫している。
51	⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	☑	ア 0歳児が、長時間過ごすことに適した生活と遊び及び環境への工夫がされている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 0歳児が、安心して、保育士等と愛着関係(情緒の安定)が持てるよう配慮している。
			☑	ウ 子どもの表情を大切にし、応答的な関わりをしている。

	育児担当保育を保育方針とし、特定の大人との愛着関係を基盤に安心して過ごすことが出来るように配慮している。保護者との連携を大切にしながら家庭での様子や園での姿を細かく伝えあう事により、家庭と園とでの保育の温度差が小さくなるように配慮されている。また睡眠時間についても細かい配慮をしている。		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	0歳児が、興味と関心を持つことができる生活と遊びへの配慮がされている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	0歳児の発達過程に応じて、必要な保育を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	0歳児の生活と遊びに配慮し、家庭との連携を密にしている。
52	⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	一人ひとりの子どもの状況に応じ、子どもが自分でしようとする気持ちを尊重している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	探索活動が十分に行えるような環境を整備している。
	育児担当保育のメリット（利点）として、顔なじみの関係性作りが早くできる為、1か月ほどで子どもが安心して保育を受ける環境を整えることができる。子どものちょっとした変化も職員が敏感に感じ取り、保護者とも連携し、それを園全体で共有することにより発達に応じた適切な保育が実施されている様子が随所に見受けられた。他児童（異年齢）との関わりを大切にし、交流することで社会性を身に着けられるよう配慮している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもが安心して遊びを中心とした自発的な活動ができるよう、保育士等が関わっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子どもの自我の育ちを受け止め、保育士等が適切な関わりをしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	保育士等が、友だちとの関わりの中立ちをしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	様々な年齢の子どもや、保育士以外の大人との関わりを図っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	一人ひとりの子どもの状況に応じ、家庭と連携した取組や配慮がされている。
53	⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開がされるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。		<input type="checkbox"/>	ア	3歳児の保育に関して、集団の中で安定しながら、遊びを中心とした興味関心のある活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ	4歳児の保育に関して、集団の中で自分の力を発揮しながら、友だちとともに楽しみながら遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
	乳幼児保育の為、【非該当】とする。		<input type="checkbox"/>	ウ	5歳児の保育に関して、集団の中で一人ひとりの子どもの個性が活かされ、友だちと協力して一つのことをやり遂げるといった遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
			<input type="checkbox"/>	エ	子どもの育ちや取り組んできた協同的な活動等について、保護者や地域・就学先の小学校等に伝える工夫や配慮がされている。
54	⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	建物・設備など、障害に応じた環境整備に配慮している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	障害のある子どもの状況に配慮した個別の指導計画を作成し、クラス等の指導計画と関連づけている。
	園内に特別支援コーディネーターを配置し、特に気にかけていく必要がある子どもについては個別支援計画を作成している。守山市の保育幼稚園課や発達支援課などと連携し、園児の支援や保護者支援を切れ目なく行なえるよう各所での連携を実施している。専門家による巡回訪問により子どもの特性や支援方法、クラス運営の方法などのアドバイスを受け、より適切な支援方法の模索が行われている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	計画に基づき、子どもの状況と成長に応じた保育を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子ども同士の関わりに配慮し、共に成長できるようにしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	職員は、障害のある子どもの保育について研修等により必要は知識や情報を得ている。
	項目（ク）に関しては、現在は【非該当】とする。			ク	保育所の保護者に、障害のある子どもの保育に関する適切な情報を伝えるための取組を行っている。
55	⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	1日の生活を見通して、その連続性に配慮し、子ども主体の計画性をもった取組となっている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	家庭的でゆったりと過ごすことができる環境を整えている。
	長時間保育の子どもには、一人ひとりの生活の見通しが立てられるように、職員間で話し合い、落ち着いてゆったりと遊べるように職員の動きに配慮している。朝、夕の長時間保育の時間帯では、少人数の異年齢の関わりを大切にしながらゆったりと保育を行うように努めている。引継ぎには各クラスの連絡ノートを作成し、誰が受けても担任や各家庭に子どもの状況や連絡事項が届くように配慮してある。コドモンの個別メッセージ機能や一斉配信システムを使って連絡を密に取っている。既読や未読の状況を把握できる機能があり、未読の保護者には口頭で伝えて周知を図っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの状況に応じて、おだやかに過ごせるよう配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	年齢の異なる子どもと一緒に過ごすことに配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	保育時間の長い子どもに配慮した食事・おやつ等の提供を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	子どもの状況について、保育士間の引継ぎを適切に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	担当の保育士と保護者との連携が十分にとれるように配慮している。
56	⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	計画の中に小学校との連携や就学に関連する事項が記載され、それに基づいた保育が行われている。
	判断した理由・特記事項等			イ	子どもが、小学校以降の生活について見通しを持てる機会が設けられている。

全体的な計画の中で「乳児期の終わりまでに育ってほしい姿」の基礎を育むための要素に考慮して保育に取り組んでいる。県や市の研修には積極的に参加し、幼児期や就学前の子どもたちの情報交換や学ぶ機会を設けている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保護者が、小学校以降の子どもの生活について見通しを持てる機会が設けられている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育士等と小学校教員との意見交換、合同研修を行うなど、就学に向けた小学校との連携を図っている。
項目（イ）（エ）（オ）は乳幼児保育園という特性上【非該当】			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	施設長の責任のもとに関係する職員が参画し、保育所児童保育要録を作成している。
IV-1-(3) 健康管理			第三者 評価 結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
57	① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	子どもの健康管理に関するマニュアルがあり、それに基づき一人ひとりの子どもの心身の健康状態を把握している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもの体調悪化・けがなどについては、保護者に伝えるとともに、事後の確認をしている。
	子どもの健康管理について保健年間計画に基づき、同法人の吉身保育園の看護師や園医、法人の医療部門からのアドバイスを得ながら子どもたちの健康管理に注力している。マニュアルに沿って複数回の検温や排便の状態を確認し、体調や見た様子などを併せてコードモンに入力している。乳幼児突然死症候群（SIDS）については職員の知識や経験がまだ浅い為、園長が今年県の安全管理対策推進研修を受講し、受講後に伝達研修を行うことで補っている。全体として知識や経験は浅いとはいえ、基本的な睡眠姿勢や睡眠時の呼吸の確認の頻度などは、ベテラン保育士を中心に確実に実施するよう徹底し、事故防止に努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの保健に関する計画を作成している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	一人ひとりの子どもの健康状態に関する情報を、関係職員に周知・共有している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	既往症や予防接種の状況など、保護者から子どもの健康に関わる必要な情報が常得られるように努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	保護者に対し、保育所の子どもの健康に関する方針や取組を伝えている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	職員に乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する知識を周知し、必要な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク	保護者に対し、乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する必要な情報提供をしている。
58	② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	健康診断・歯科健診の結果が記録され、関係職員に周知されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	健康診断・歯科健診の結果を保健に関する計画等に反映させ、保育が行われている。
	注意しなければいけない点や再診の必要があれば、保護者に伝えている。保健計画の内容を確認した。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	家庭での生活に生かされるよう保育に有効に反映されるよう、健康診断・歯科健診の結果を保護者に伝えている。
59	③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	アレルギー疾患のある子どもに対して、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」をもとに、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	慢性疾患等のある子どもに対して、医師の指示のもと、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。
	アレルギー対応マニュアルに基づいてアレルギーのある子どもの対応を行い、園内で共通認識を持って対応している。配膳時にはアレルギー対応児用はトレイの色を変え、視覚的に間違いが発生しないよう工夫している。また、机も専用に用意したものを使うなど徹底している。一方、研修でアレルギー症状が出た時の緊急時の対応方法を学び、備えを万全に整えている。保護者には登園時等にお菓子を食べながら入るなどの行動を園児がしないよう注意喚起し、不特定の食べ物が入り込まない環境作りを心掛けている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	食事の提供等において、他の子どもたちとの相違に配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	職員は、アレルギー疾患、慢性疾患等について研修等により必要は知識・情報を得たり、技術を習得している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	他の子どもや保護者にアレルギー疾患、慢性疾患等についての理解を図るための取組を行っている。
IV-1-(4) 食事			第三者 評価 結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
60	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	食に関する豊かな経験ができるよう、保育の計画に位置づけ取組を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれる環境・雰囲気づくりの工夫をしている。
	子どもの発達に応じて、あるいはその日の子どもの様子によって盛る量（食事量）を調節し、担任が配膳している。食事量は保護者にも伝え、家庭との連携を図っている。また管理栄養士と相談し、テラスで栽培した野菜、絵本の中に出てくる野菜や果物を【絵本給食】として提供する事で、子どもたちの食に関する意識を高めている。絵本の世界と実際の世界を、味を通して知る良い機会になっている。保護者からは園で出たメニューなら食べるのでレシピを教えて欲しいと希望があり、実際にレシピを持ち帰れるよう玄関にレシピコーナーを設けるなど、独自の工夫が見られた。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの発達に合わせた食事の援助を適切に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	食器の材質や形などに配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	個人差や食欲に応じて、量を加減できるように工夫している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	食べたいもの、食べられるものが少しでも多くなるよう援助している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	子どもが、食について関心を深めるための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク	子どもの食生活や食育に関する取組について、家庭と連携している。
61	② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	一人ひとりの子どもの発育状況や体調等を考慮した、献立・調理の工夫をしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもの食べる量や好き嫌いなどを把握している。

	毎月喫食状況などを各クラスから聞き取り、それを基に給食会議が行われている。毎日実物の昼食を玄関前に置き（展示し）、保護者に子ども達が食べた内容や量がはっきりと視覚で確認できるように工夫している。それが、毎日のお迎え時の親子の会話にもなっており親子のコミュニケーションのきっかけにもなっている。献立は以上児（大きい年齢の子）がいる同法人の保育園のものを踏襲する形のため、乳幼児でも安全に食べられる食材に変更している時もある。提供前には園長と主任が検食を行い確認している。衛生管理は給食室用のマニュアルに基づいて実施している。	☑	ウ	残食の調査記録や検食簿をまとめ、献立・調理の工夫に反映している。
		☑	エ	季節感のある献立となるよう配慮している。
		☑	オ	地域の食文化や行事食などを取り入れている。
		☑	カ	調理員・栄養士等が、食事の様子を見たり、子どもたちの話を聞いたりする機会を設けている。
		☑	キ	衛生管理の体制を確立し、マニュアルにもとづき衛生管理が適切に行われている。

IV-2 子育て支援

IV-2-(1) 家庭との緊密な連携		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>		評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
62	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	連絡帳等により家庭との日常的な情報交換を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育の意図や保育内容について、保護者の理解を得る機会を設けている。
	コドモン（ICT）で連絡帳のやり取りを行い、クラスだよりなども一斉配信されている。写真付きで保護者からも子どもの様子がわかりやすいと好評である。個別懇談会を行い、保護者との個々の情報交換を行い連携・運営に役立てている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	様々な機会を活用して、保護者と子どもの成長を共有できるよう支援をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	家庭の状況、保護者との情報交換の内容を必要に応じて記録している。
IV-2-(2) 保護者等の支援		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>		評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
63	① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	日々のコミュニケーションにより、保護者との信頼関係を築くよう取組を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保護者等からの相談に応じる体制がある。
	個別懇談会だけではなく、送迎時に子どもの様子を口頭で伝えたり、相談に応じている。保護者と信頼関係を構築し、必要に応じて個別相談も受け付けている。保護者の就労状況や疾患（病気）などにも配慮しながら親子を一体的に支援している。言葉かけには保護者の想いや状況に配慮し、必要に応じて個室に招いて心の声を聞き、時に泣いてしまうなどの状況も受け止めるようにしている。相談を受けた内容は、園長・主任に報告し、今後の支援に役立てている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保護者の就労等の個々の事情に配慮して、相談に応じられるよう取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育所の特性を生かした保護者への支援を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	相談内容を適切に記録している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	相談を受けた保育士等が適切に対応できるよう、助言が受けられる体制を整えている。
64	② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	虐待等権利侵害の兆候を見逃さないように、子どもの心身の状態、家庭での養育の状況について把握に努めている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	虐待等権利侵害の可能性があると職員が感じた場合は、速やかに保育所内で情報を共有し、対応を協議する体制がある。
	特に支援が必要な家庭環境にある子どもについては、担任と共に園長・主任が把握し適切な対応ができるように常に意識している。虐待マニュアルを常備し、虐待研修にも参加している。要保護児童対策協議会に参加し情報を得たり、民生児童委員の訪問を受け、情報交換に努めている。日々の保育の中でも、自然な形（着替えの際にさりげなく）で身体面で変わったことがないかを確認するようにして、気にかけている。万が一の際は児童相談所などとも連携していく用意がある。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	虐待等権利侵害となる恐れがある場合には、予防的に保護者の精神面、生活面の援助をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	職員に対して、虐待等権利侵害が疑われる子どもの状態や行動などをはじめ、虐待等権利侵害に関する理解を促すための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	児童相談所等の関係機関との連携を図るための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	虐待等権利侵害を発見した場合の対応等についてマニュアルを整備している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	マニュアルにもとづく職員研修を実施している。

IV-3 保育の質の向上

IV-3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)		第三者 評価結果	☑		評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
65	① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a	☑	ア	保育士等が、記録や職員間の話し合い等を通じて、主体的に自らの保育実践の振り返り(自己評価)を行っている。
	判断した理由・特記事項等 職員自身が、自己申告書の中で自身の伸ばしたいところや、学びたい内容を申告し、それを元に園長と職員が個別に面談して振り返る機会を設けている。年度末には次年度を見据えて職員自身の保育目標や自己評価を記入し、園長に提出する機会がある。「園内研修会のまとめ」という冊子を作り、職員全員が確認できるようになっている。		☑	イ	自己評価にあたっては、子どもの活動やその結果だけでなく、子どもの心の育ち、意欲や取り組む過程に配慮している。
			☑	ウ	保育士等の自己評価を、定期的に行っている。
			☑	エ	保育士等の自己評価が、互いの学び合いや意識の向上につながっている。
			☑	オ	保育士等の自己評価にもとづき、保育の改善や専門性の向上に取り組んでいる。
			☑	カ	保育士等の自己評価を、保育所全体の保育実践の自己評価につなげている。